

党市くらしの相談室長
坂口多美子



これから、こんな風に、気軽に日本共産党のことを知ってもらう機会をどんどん作っていききたいと思います。(市議予定候補)

「小池さんになんでも聞いてみよう」という、日本共産党へのいくつかの質問に、小池晃参議院議員が答えるDVDを鑑賞したあと、4、5人に分かれてのグループトーク。「共産党のイメージについてどんなん？」の問いかけに、「いい政党だと思っけど、なかなか議席が取れない『残念な党』』という率直な意見

若者たちの共産党についての思いは…



には大笑い。「政党助成金をもらわずに組織としてよう成り立ってるなあ」と感心したり、「小池さんのDVDで、野党共闘の見返りは？の質問に『民主主義』と即答していたのがかっこよかった」という意見には共感の声があがりました。この4月から社会人になった方から、学費の値下げ・給付制奨学金のことをもっと頑張りたいと強い要望が。社会に出た大人大きな借金を抱えなければいけない日本って本当におかしい！！切実な声です。

JCPカフェ

素敵なカフェをお借りして、「JCPカフェ」を開きました。

青年・学生を対象に、日本共産党のことをもっと知ってほしい。悩み・願い・怒りなど、「カレーパンを片手に語り合おう」と呼びかけて、高校生や大学生、新社会人など14人が参加してくれました。

県会議員 **奥村のり子** の
読者ニュース
2018年6月3日 第314号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
☎&FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp

憲法25条は『すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。』国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。』としていいます。国は国民がよりよい生活を



すでにお渡し中ですが最新の議会報告です。活用して頂けると大変嬉しいです。必要な場合事務所へどうぞ

今年・来年は選挙の年 憲法25条に少しでも近づきましょう頑張ります
ません。医療や介護などのサービスも、もともと不十分なところからさらに改善されています。住民の中で「黙ってられない」と年金引き下げの違憲訴訟裁判をおこしている方々が多いです。昼間、地域を訪問すると高年齢の方とお話を伺う機会が多いので、必ず年金と介護の話になります。これから始まる市長選・知事選・県議選・市議選・参議院選をぜひ、よりよい生活をもとめて一人一人が声をあげて求めてゆきましょう。
(奥村のり子)

勝ってほしいなあ！新潟知事選
そして来年参院選で本気の共闘

- のり子の週刊日誌(主なもの)**
- 6月1日 市駅前・宇治交差点宣伝、旭学園視察、コンサート
 - 2日 候補者会議。地域訪問
 - 3日 会議
 - 4日 河西事務所無料生活相談、地域訪問、産廃会議、障がい者対策会議
 - 5日 議運オプザバーバー参加
 - 6日 北島道路完成式、メガ住民の会役員会議
 - 7日 市駅前事務所無料生活相談、質問準備

終盤国会の5月28日、衆参両院の予算委員会はモリ・カケ疑惑で追及されたアベ首相はあきれた答弁の繰り返し、質問議員を愚弄する傲慢さでした。こんな政権に打撃を与えるために新潟知事選と11月の沖縄知事選でアベ政治にノーの審判を下さねばなりません。新潟知事選は6月10日が投票日です。6野党・会派が結束して押す柏崎市議や県議も務めた女性、池田ちかこ候補が奮闘中です。最大の争点は原発問題でこれまでの県政の方針を引き継ぎ「原発ゼロの新潟をめざす」としています。どらい支援者が登場です。5月23日新潟県魚沼市で「柏崎・刈羽原発を考える会」主催の行事で講演したのが、あの小泉純一郎元首相です。記者団に「新潟は直ちに廃炉、そういう候補に当選してもらいたい」と池田候補にエールです。小泉氏ともう一人

人細川護熙元首相が顧問を務める「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」のみなさんが、すばらしい法案を提案され、野党で共同提出しています。対立する自公候補は官邸直結で自民党幹事長の二階氏(和歌山3区)の運輸相時代の秘書官でパリパリの自民党なのに、党名隠しで「県民党」と名乗り、「原発は争点にならない」(二階氏)と争点隠しだが、官邸はアベを先頭に再稼働一本やりだから原発推進は明らかです。市民と野党の共闘が発展してきたこの頃、勝利して来年の参院選で野党勝利の見本になってほしいものです。本気の共闘で参院選勝利しましょう。遠い新潟のことですが、もしお知り合いがある方は、ご支援のほどよろしくお願いします。(編集室)